

うきは市の概要

(1) 位置・気候・地勢



福岡県の南東部に位置するうきは市は、東に大分県日田市、西に久留米市、南に八女市と隣接し、筑後平野の東端に位置しています。市の北部に筑後川が流れ、その流域に肥沃な農地が広がる一方で、南部には耳納連山が連なり、豊かな自然と美しい山々に囲まれた地勢が特徴です。

気候は温暖で比較的雨が多く、四季の変化がはっきりしています。特に春から初夏にかけては、清流や果樹園が美しい風景を織りなし、秋には紅葉や収穫が地域の魅力を引き立てます。年間を通じて農業が盛んであり、柿やぶどうなどの果物生産でも知られています。

このような自然条件と地理的特性により、うきは市は「水と緑のまち」として親しまれ、住環境の良さや観光資源の豊かさを活かしたまちづくりが進められています。

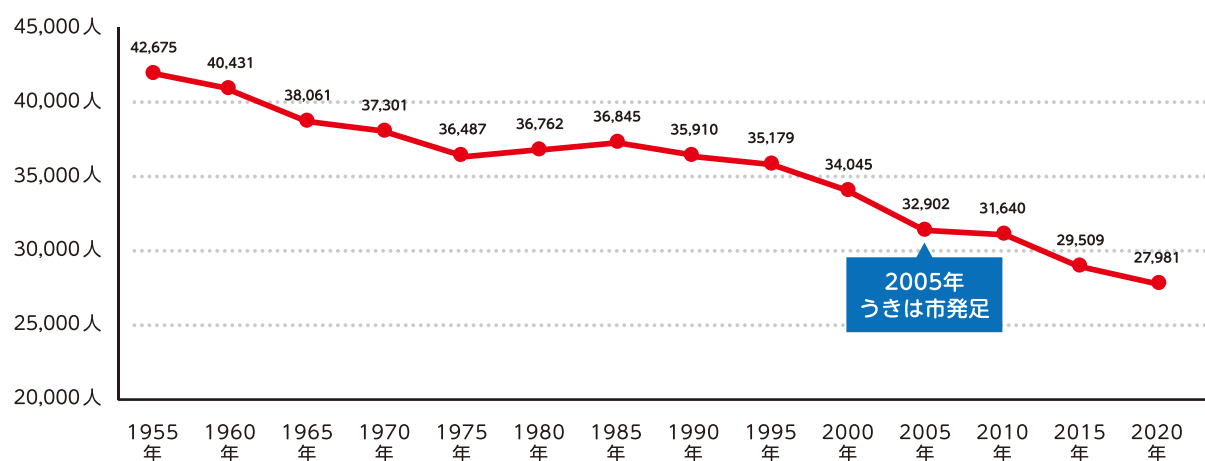
(2) うきは市の沿革

うきは市は2005年3月20日に浮羽町と吉井町が合併して誕生しました。両町はともに歴史と文化が豊かな地域であり、吉井町は白壁の町並みが残る宿場町として知られ、浮羽町は果樹栽培や森林資源を活かした産業を中心に発展してきました。市制施行後は、歴史・文化資源を活かした観光振興や、農業のブランド化、住民福祉の向上などに力を入れて、伝統と現代が調和した魅力ある地域づくりが進められています。

(3) うきは市の人口動向

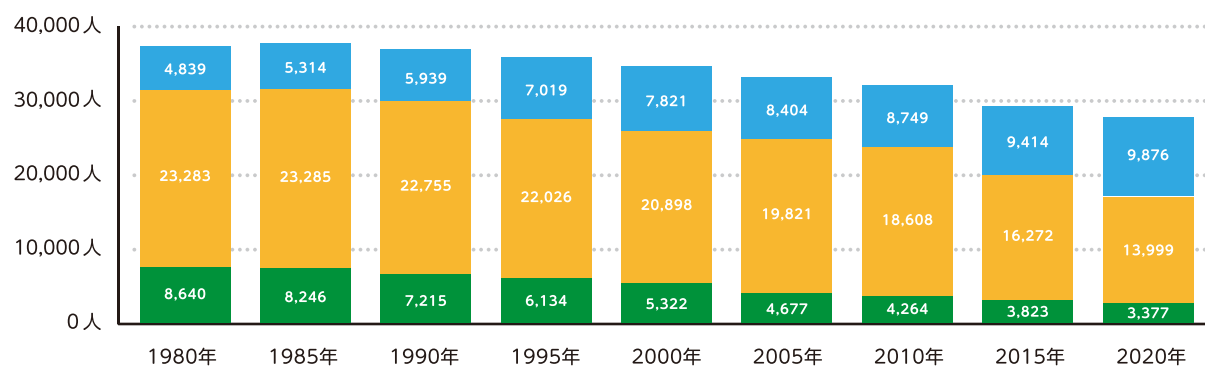
本市の総人口は、2020年に27,981人となっており、1985年から減少傾向で推移しています。15歳未満の年少人口と15歳以上65歳未満の生産年齢人口が減少する一方、65歳以上の老年人口は増加しており、2020年は9,876人と、1980年の約2倍になっています。

図表1 総人口の推移



資料：国勢調査

図表2 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

※2000年以前は、吉井町と浮羽町の人口の合計値